

青い空に浮かぶ白い雲 48

—学力向上への取組総力戦①—

東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

(今日の言葉) 努力した成果を、自分で実感できることが大切 (山口 香)

努力した成果を実感できる仕組みを考案するのが校長の仕事 (真如昌美)

PROFILE—山口 香さん、柔道家、筑波大学准教授、JOC 理事、東京都教育委員

1 「学力」の定義

学力については様々なとらえ方がありますが、ここでは、学習指導要領の総則に記されている、

- ①基礎的基本的な「知識・技能」
- ②知識・技能を活用して課題を解決するための「思考力・判断力・表現力等」
- ③主体的に学習に取り組む「態度」

の三つの視点からとらえることとします。(下図1)

2 学力向上に向けた基本姿勢

平成26年1月6日、新年最初の校長会、副校長会合同会で、私は、小中15校の校長、副校長を前にして、今年的重要課題の第1番目に「学力の向上」をあげ、学校、保護者と共にその目標達成に向け取組を進めますと宣言しました。

言うまでもなく、心の教育や体力の向上、教育のグローバル化など教育課題は山積しています。これらの教育課題に対してもこれまで通り課題解決に向けた取組を進めていきます。そのうえで、今年は、各校長をリーダーとした学校の職員全員と私たち教育委員会とが心をついに一丸となって「学力の向上」に向けた具体的な取組を進めます。また、個に応じて、伸びようとする芽はさらに伸ばしていく指導を展開していきましょう。

3 家庭と地域に協力依頼

小学校から中学校、高等学校へと進学する中において、学習したことがしっかりと身につけていなければ、進学しても結局は学習についていけず、机に突っ伏したまま学習意欲を失っていくことは火を見るより明らかです。

秋田県の子供の学力が高いことについて多くの人が要因としてあげることは

- ①9割以上が朝ご飯をきちんと食べていること
- ②就寝時刻と起床時刻がほぼ決まっていること
- ③7割以上の子供が平日8時間～10時間の睡眠を取っていること

と仰うことです。

いつも言っていますが、学力は学校だけで身につくものではありません。

- ①校長のリーダーシップ
- ②学校組織のチャレンジ精神と実践
- ③教師個々の指導力
- ④健康面や家庭学習などへの家庭の協力
- ⑤学校の取組を応援し認め励ましてくれる地域の力

などが求められます。そして、「実行」し「継続」することが大事です。「やるか」「やらないか」で結果は大きく違ってきます。社会の変化、家庭環境の変化など世の中は急速に変化をしている中で、今までと同じ手法では課題解決に結びつかないことも多くなっています。

今は、各学校の「知恵くらべ」「根くらべ」の時です。一緒に「実行」と「継続」を目指しましょう。

